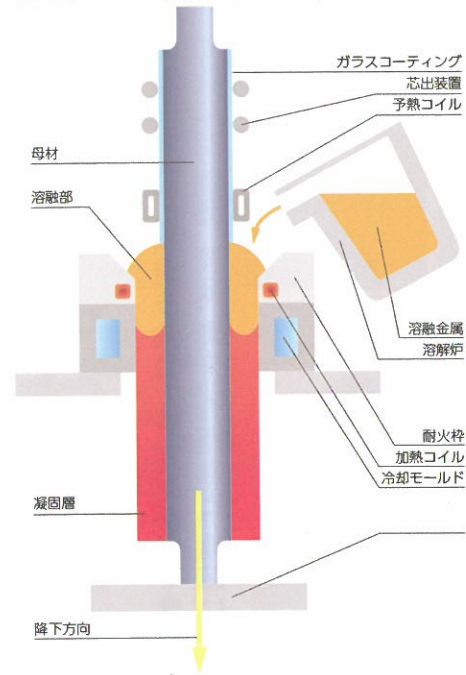
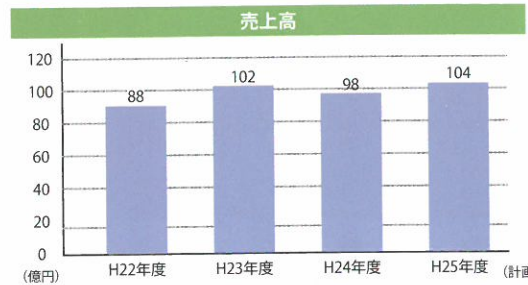


CPC プロセスと MaSSC 技術

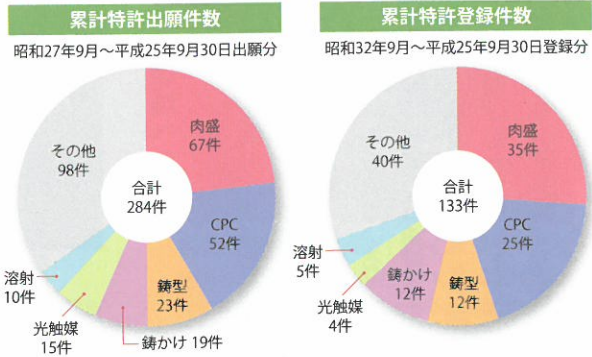
CPC プロセス概要図



フジコーが独自開発した複合鍛造技術「CPCプロセス」。製鉄所の圧延工程などで使われる産業用のロールやローラーの母材の表面を硬い金属で覆う。違う性質の金属を複合(クラッド)させるので、溶接や溶射技術とは異なり、クラッド層(外層)の厚さが数cmと厚くなる。



技術開発センターで行われている基盤技術開発の様子。



光触媒と溶射技術を使った MaSSC 技術で作られた内装用のタイル(右の写真3点)と、施工した様子(上の写真)。



車載用のコンパクトな空気消臭殺菌装置。

株式会社フジコー

時代とともに「鑄型」の仕事は減少する中で、これまで培った溶接・溶射・特殊鍛造の技術を応用。研究・開発に力を注ぎ、新規分野への進出もめざましく、年間売上上の3%が研究開発費

業界を変える先進的企業

溶接・溶射・特殊鍛造などの金属表面処理の基本技術をベースに、新規分野への挑戦を続けているのが(株)フジコーである。

当初約30年間は、全国各地の大手製鉄所構内で「鑄造」という製鉄法で使われる「鑄型」のリサイクル技術を開発し、これを事業の柱としてきた。

時代とともに「鑄型」の仕事は減少していったが、創業以来からの技術を応用し転用することで、新規事業分野を次々と切り拓く。この経験から、「既存事業に頼らず、常に新規事業を創造し続ける」が同社の重要な理念となる。たとえ苦しい業績でも、常に年

間売上上の3%を研究開発費に充てており、現在では130件以上の特許を保有している。

独自金属表面処理技術を活用

そうした同社の技術革新により培われた、独自の溶射技術(コーティングを行う金属表面処理技術のひとつ)は、「第1回ものづくりに日本大賞」の優秀賞にも輝いた。さらに、この溶射技術と光触媒という技術を活用した画期的な新商品が「消臭殺菌タイル」、「空気消臭殺菌装置」である。

光触媒は、太陽や蛍光灯などの光を当てるだけで、強い殺菌力を発揮する技術である。同社の溶射技術を用いて、光触媒を基材にコーティングすることで、基材の

表面を高密度な光触媒で被うことができる。そうすることで、光触媒の殺菌性能を最大限に高めることができるのである。

医療分野への展開を目指して

「消臭殺菌タイル」、「空気消臭殺菌装置」は、大腸菌などの細菌を殺菌し、インフルエンザウイルスを不活化させることができる。殺菌、感染防止、悪臭対策が必要な分野には幅広く使えるが、その中でも、院内感染や家畜の口蹄疫、鳥インフルエンザへの防止技術につながる。大きな市場が見込める。そのために、同社では医療分野との連携を進めている。

医療分野への展開という、また新しい挑戦がこれからも続く。

会社概要

- 会社名 株式会社フジコー
- 住所 〒804-0011 福岡県北九州市中原西2-18-12
TEL: 093-871-3724 FAX: 093-884-0048
HP: <http://www.kfjc.co.jp>
E-mail: general.fujico@kfjc.co.jp
- 設立 1952年
- 資本金 1億円
- 現在の従業員数 779名
- 平均年齢 38.9歳
- 売上高 102億円(2013年6月時点)
- 営業利益 -
- 国内の主力製品名と生産個数 -
- 海外向けの製品名と生産個数 -
- 上記製品の海外への輸出比率 -
- 取り扱い製品
製鉄向け耐熱・耐蝕・耐摩耗製品(圧延ロール・搬送ロール・再生ロール、他各種複合化部品)
光触媒応用製品(空気清浄機—民生用・業務用)、建材(タイル・天井ボード)
- 今年度の採用 15名
- 来年度の採用 未定
- 求める人材像 自ら考え行動できる、明るくて元気、リーダーシップ
- 担当者から一言 -